

事業報告

市民活動プレゼンテーション

障害がなくてもわかる 心のバリアフリー

福生市で誰もが快適に過ごせる地域の実現を目指す活動をしているバリアフリー2001の方に、団体の成立から、日頃の活動内容・悩み、今後の活動について話していただき「心のバリアフリー」の大事さ、多様性やパートナーシップの重要性に改めて気づいた事業でした。

〈参加者の意見〉

- ・ 講座内容に感銘を受けた
- ・ この様な講座の場があってよかった
- ・ 様々な障害に対する其々の悩みや問題があることを知った



地域デビュー応援隊委員会

実施日：5月30日(火)

まち歩き 「中福生～牛浜の名木と湧水を歩く」

参加者 12名 講師1名 委員 3名 事務局 3名
今回、第3弾として「福生の名木」より、中福生や牛浜周辺の名木や湧水を散策しながら福生の歴史に触れるまち歩きを実施しました。申込みの段階で好評いただき定員を上回りましたが、講師のご厚意により12名の参加者で、談笑しながら福生の歴史を改めて学びました。

印象的だったことは、牛浜に長くから事業展開している清水工業の社長、中福生の歴史を知る井上家当主、また清岩院の住職より貴重なお話を聞き、普段見学できない所まで拝見させていただくことで、まるでタイムスリップしたかのような気持ちとなりました。ボリュームのある内容となり時間が超過してしまいましたが、別の機会で座学においても、話を伺いたいと思いました。



実施日：4月16日(日)
参加者10名 講師1名 スタッフ1名

市民活動サロン 輝き 事業報告

SSS®福生

親子で楽しむ・ハンドタオルでつくる タオルアート

今回は、第1回目のサロン活動でした。参加されたみなさまが、「難しそうですね、あまり上手にできそうにないです」と思われる方がいらっやいましたが、一緒に作ることで、ご自分の作品だけでなく、他の方の作品も見比べて、「こうしたら、可愛くなるのでは」とそれぞれ工夫なさり、個性豊かな作品になりました。そして、終了時間も忘れるほど、集中されて、笑いの絶えない楽しい会になりました。



普段なにげなく使うハンドタオルですが、少し工夫することで、楽しくユーモアに満ちたアート作品になり、作る事で想像力を高め、人との繋がりができて和やかな時間を過ごすことができました。忙しさに翻弄される事が多い日常ですが、このような時間を持つことで心にゆとりができて、笑顔になれる場所になれば良いと思います。次回、7月30日(日)に開催予定ですので、一緒に楽しい時間を過ごしませんか。ご参加お待ちしております。



実施日：4月18日(火)
参加者17名 講師1名 スタッフ2名 事務局2名

コーズみらいみらいひろば福生

第3回 終活準備 「エンディングノート」の書き方講座

講座では、実際にエンディングノートが教材として配られ、医療や介護、保険、お葬式や遺品整理の希望など様々な項目に沿って進められました。話を聞きながら、早速ペンを走らせていらっやる方もいました。

エンディングノートに元々興味を持って来て下さった方が多く、質疑応答ではご自身の体験談や「こうすると良いのではないか」という意見が出たりと、活発な交流がありました。また、「エンディングノートをずっと書こうと思っていたので、良いきっかけをいただきました」「他の人の話も聞け、長い人生の終盤になった今、知識として取り入れることができました」と感想をくださり、皆さん満足していただけたようでした。

今後も皆様のお役に立てる講座を行いたいと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしております♪



福生市市民活動のための情報誌

Vol.104

令和5年6月1日発行

KAGAYAKI

発行：福生市輝き市民サポートセンター 企画・編集：福生市社会福祉協議会
〒197-0011 東京都福生市福生 1014 番地 10 (JR 青梅線福生駅隣接 福生市プチギャラリー 4階)
TEL&FAX: 042-551-0166 URL: <https://kagayaki-fussa.tokyo.jp/>

福生市市民 サポートセンター

センター長の挨拶

福生市輝き市民サポートセンター

～みなさんの活動がさらに充実したものになりますように～ センター所長 田中 誠雅

コロナ禍での市民活動につきましては、多くの制限の中、市民活動団体の皆さまはじめ多くの市民の皆さまの多大なるご理解とご協力を賜り、当センターの運営をおこなえましたこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

令和5年3月13日からはマスクの着用についても緩和され、当センター利用者様の数も徐々に増えてまいりましたことから、展示を中心とした「活動紹介」から、ようやく通常期の活動がおこなえる兆しが見えてまいりました。

令和5年度の当センターイベント「市民活動のひろば 輝き hands to hands」には、ぜひ多くの方々にご来場いただきまして、市民活動団体の皆さまの活動紹介や発表、展示などに触れていただく機会にさせていただけたらと存じます。

また、市民活動に興味をお持ちの方や市民活動を新たに始めようと思っらっしゃる方は、ぜひお気軽に輝き市民サポートセンターへお越しいただき、お気軽に市民活動にご参加いただけましたら幸いです。

今後もさらなる市民活動の活性化を目指してまいりますとともに、充実した支援に努めてまいります。

新任の挨拶

ふっさボランティア・市民活動センター

センター長 高山 浩之

4月1日付で輝き市民サポートセンターを所管するFVAC(ふっさボランティア・市民活動センター)のセンター長に着任いたしました高山浩之と申します。輝き市民サポートセンターの環境、福祉、社会教育、文化、国際、災害支援など、あらゆる分野の公益的な市民活動を活性化し、住みよい活力あるまちづくりに自発的に貢献する市民活動を、センター職員一丸となってサポートしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

令和5年5月8日付けで5類感染症に位置づけられることにもない、当センターでの対応についても市の対応に準じ、同日付けで次のとおり変更いたします。

- (1) 消毒液の使用について
当面の間、引き続き設置いたしますが、使用は来場者個人の判断として一律の使用は求めないことといたします。
- (2) 飛沫感染防止パネルの設置について
受付カウンターにあるパネルについては、当面の間、引き続き設置し、それ以外のものは随時撤去の予定です。
- (3) マスクの着用について
着用については来場者個人の判断といたしますが、職員については当面の間、マスク着用での対応とさせていただきます。